

## 平成23年度発掘調査遺跡の紹介

### ろく たん だ み な み 六反田南遺跡

(糸魚川市大字大和川字六反田地内)

六反田南遺跡は現在の海岸線まで直線にして250mと海に近く、海川右岸の沖積地に立地します。一般国道8号糸魚川東バイパス建設に伴い、平成18年度から発掘調査を行っています。今年度は2つの調査区(KD3区・市道1区)を4月から10月まで、延べ面積4,670㎡を対象に発掘調査しました。今回は市道1区の平安時代(上層)と縄文時代中期(中層)の2層について報告します。

上層(標高約4.9m)では、掘立柱建物8棟や竪穴建物1棟のほか、土坑や溝などを検出しました。掘立柱建物SB3745は桁行7間(約14m)以上の大規模な東西棟です。掘立柱建物SB3746はSB3745と同じ位置にあり、梁間2間(約5.5m)、桁行6間(約13m)以上の大規模な東西棟で、掘立柱建物SB3745の柱穴を壊して建てています。どちらも柱穴には柱根は残っていません。柱穴に土や砂を交互に入れて敲き締め、版築状にすることによって柱を支えています。竪穴建物SI3630からは須恵器の無台杯、杯蓋、土師器の杯、甕などがまとまって出土しました。調理具と食膳具のセット一式がそろっているようです。器形の特徴から8世紀末頃のものと考えています。遺構・遺物から、古代頸城郡沼川郷を拠点にしていた在地の有力者の屋敷である可能性が考えられます。

中層(標高約4.5m)では、下層の時期よりも一段階新しい縄文時代中期中葉末(古府式並行期)の竪穴住居1軒、炉4基、埋設土器、炭化物集中遺構、溝などを検出しました。炉は多くの石を隙間なく敷き詰めた炉(SI6031)や土器敷き炉と石敷きを組み合わせた複式炉、石囲炉など、バラエティーに富みます。竪穴の掘り込みを検出できませんでしたが、SI6031以外の炉も竪穴住居に伴うものと考えています。当遺跡の炉は、下層でも様々な形態のものが検出されており、興味を引かれます。

(株)吉田建設 松井 智・山本友紀



上層 遺跡完掘状況(東から)



上層 竪穴建物SI3630遺物出土状況(南から)



中層 竪穴住居SI6031(北から)

# えん めい じ 遺 跡

(上越市下野田字延命寺地内)

高田平野のほぼ中央に位置し、北流する飯田川と戸野目川との間の沖積地に立地します。一般国道253号上越三和道路建設に伴い発掘調査をしました。平成18・19年度の調査区では飛鳥時代から奈良時代の掘立柱建物・竪穴建物などの遺構、「物部郷」・「野田村」などと書かれた木簡、甕などの土師器、蓋・杯などの須恵器、農具・祭祀具などの木製品が多く出土しました。

今年度は7月から9月まで、奈良時代（上層）と古墳時代～飛鳥時代（下層）の2層を調査しました。

上層では水田跡を検出しました。平成18・19年度に検出した北西－南東方向の小畦畔2条に続くものに加え、東西方向の小畦畔や、北側では小区画の水田跡を検出しました。小畦畔の断面形は台形で、下幅は40～70cm、水田面からの高さは5～10cmほどで、北側が高く、南側が低い傾向がありました。水田面の標高は北側で9.2～9.3mとなる以外、全体ではほぼ9.4mと平均しています。調査範囲には水口はありませんでした。また、水田面全域にわたってヒトの足跡と見られる痕跡が認められました。遺物は畦畔中から曲物底板（写真右下）が出土しました。

下層では古墳時代前期～飛鳥時代頃の土坑1基、ピット10基、溝1条を検出しました。遺構の分布は調査区中央からやや北側に集中していました。2基のピットには柱根が残っていました。遺物は甕・壺・杯・高杯などの土師器が5箱、石製品は砥石が1点出土しました。柱根については、放射性炭素年代測定により伐採年代を明らかにする予定です。

奈良時代の水田跡に関連する遺物としては、平成18・19年度の調査で、木製品の直柄又鋏・直柄平鋏・田下駄が出土しています。また、西側に隣接する三角田遺跡からは鎌の柄が出土しています。県内では近年、水田跡が多く調査されています。今後は本遺跡調査の分析を通し、奈良時代の水田とその関連遺物の特徴を明らかにしていきたいと思えます。

(株吉田建設 細井佳浩)



調査範囲全景（東から）



上層 水田跡（北から）



下層 土坑・ピット（西から）



曲物底板

# こ さか い づけ 小坂居付遺跡

(新潟市南区小坂字居付)

遺跡は国道8号白根バイパス建設に伴い、平成21年度から継続して発掘調査を行っており、今年で3年目になります。越後平野を流れる信濃川の支流・中ノ口川右岸の沖積地に立地します。鎌倉時代末～室町時代（13世紀後半～14世紀）の屋敷地と周囲に広がる水田跡です。今年度は、平成21年度に調査できなかった屋敷の一部、及び3層に累積する水田16,000㎡について発掘調査を行っています。

屋敷地からは水田域と屋敷の東側を区画する溝や掘立柱建物の柱穴、蓮の花芯と炭化米（品種名：白早稲か）が大量に入った土坑等を検出しました。屋敷地からは木簡が2点出土しています。1点は平成21年度に出土した茅札（茅刈りの許可証）と同じ茅札で、もう1点は呪符で呪いの星の記号等がたくさん書いてあります。平成21年度に出土した茅札は、表：「吉ゑのかや／七月中／元亨三（1323）年／花押」、裏：「花押」が書いてありましたが、今回出土したものは、表：「よしゑのかやふ／たの事／元亨五（1325）年□月五日」、裏：「花押」が書いてあります。現在も遺跡周辺に残る「吉江」の地名が再び書かれています。また、今回書かれている年号の元亨五年は実在しません。元亨四年十二月九日に「正中」に改元されているからです。改元を知らなかったのか、誤って書いてしまったのか興味深いところです。

水田は平成22年度の調査では4層に累積していましたが、今年度は最下層の水田の畦畔が検出できず、3層の水田面の調査をしています。今年初めて水路と考えられる畦畔と並行に掘られた溝848を検出しています。溝848は、調査区の北西端で検出した自然流路870と繋がるようです。自然流路870の岸には護岸と考えられる2列の杭列を検出しています。水田の1区画は一辺13～19mほどで南西－北東方向の畦畔の一部を水口状に切っているところがあり、標高の高い北西側の水田から標高の低い東南側の水田へと、田伝いに水を引き込んでいたと推測されます。今後は3年間の調査成果をまとめ、屋敷地と水田の性格を明らかにしたいと考えています。

(佐藤友子)



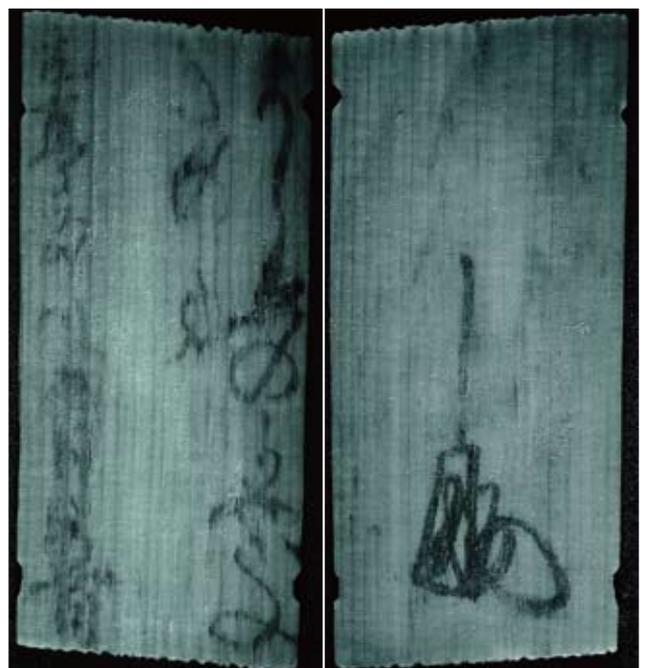
X層水田跡（南東から）



自然流路870 杭列（北西から）



第3号木簡  
呪符  
(長さ27.8cm)



第4号木簡  
茅札（左：表面、右：裏面）（長さ10.0cm）  
赤外線写真撮影：新潟県立歴史博物館 浅井勝利

## 埋文インフォメーション

## 平成23年度 現地説明会を開催しました

平成23年度は9遺跡の発掘調査を行い、新潟市・魚沼市・上越市・糸魚川市で5遺跡の現地説明会を開催しました。説明会では、検出した遺構や遺物について調査員が現地で説明し、参加者からの質問に答えました。会場では調査員の説明に驚きの声が上がったり、詳細を質問したりする声が聞かれました。

開催日	遺跡名	所在地	関連事業	参加人数
7/2(土)	下割遺跡	上越市	国道253号上越三和道路	125
8/28(日)	町上遺跡	魚沼市	国道17号浦佐バイパス	65
8/27(土)	二反割遺跡	上越市	国道253号上越三和道路	85
9/10(土)	小坂居付遺跡	新潟市	国道8号白根バイパス	71
9/18(日)	六反田南遺跡	糸魚川市	国道8号糸魚川東バイパス	50

## 遺跡の概要

**下割遺跡**<sup>しもわり</sup>：室町時代の井戸・用水・道路などを検出しました。道路は昨年度調査区から連続するもので、長さ50m、側溝を含めた幅7.5～9m（路面幅4m）の大規模なものです。時期は14～15世紀前半頃と考えています。

**町上遺跡**<sup>まちがみ</sup>：縄文時代中期の竪穴住居5基、貯蔵穴などを検出しました。遺物は、縄文時代中期中頃～後期中頃の土器や、石鏃・磨製石斧・石皿・磨石・三脚石器・石棒などが出土しました。

**二反割遺跡**<sup>にたんわり</sup>：古墳時代・鎌倉時代の集落を検出しました。鎌倉時代では掘立柱建物10棟、井戸5基、土坑などが見つかри、これを幅3m、深さ1.8mの堀で区画する村の姿が明らかになりました。掘立柱建物には高床の倉庫と見られるものもありました。大規模な溝や倉庫から有力者の存在をうかがうことができます。

※六反田南遺跡・小坂居付遺跡は本誌1・3頁をご覧ください。

※現地説明会の当日資料はホームページ (<http://www.maibun.net>) に掲載しております。



六反田南遺跡



小坂居付遺跡

## 第18回 遺跡発掘調査報告会を開催しました

10月2日（日）に新潟県立歴史博物館講堂において、「第18回遺跡発掘調査報告会」を開催しました。当日は102名の方々に御参加いただき、財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団の平成22年度の発掘調査成果報告とともに、22年度に県指定文化財（有形考古）となった滝寺窯跡群・大貫窯跡群出土品の概要説明を行いました。

また、9月23日（金）～11月20日（日）には新潟県立歴史博物館秋季企画展「新潟の土偶―発掘された新潟の歴史2011―」として、平成22年度を中心とした発掘調査成果を出土遺物や写真パネルなどを用いて展示しました。10月2日には報告会開催にあわせて展示説明会を開催し、各遺跡の調査担当者が遺構・遺物の特徴について解説しました。

お忙しい中、報告会や展示会にお越しいただき、ありがとうございました。

### 報告会発表遺跡の概要

ろくたん だみなみ

**六反田南遺跡**（糸魚川市）：縄文時代中期では石囲炉のある竪穴住居を検出しました。古墳時代前期では川のほとりで平地建物・掘立柱建物を検出し、川では祭祀に使われたと見られる土器が大量に出土しました。奈良・平安時代では大形の掘立柱建物を検出しました。

こさか いづけ

**小坂居付遺跡**（新潟市）：鎌倉時代末～室町時代の屋敷地と周囲に広がる水田を検出しました。出土した木簡から、「白わせ」という品種の米が栽培され「さとう三郎」が管理者として屋敷地に居住していたと推測されます。

やまごき

**山崎遺跡**（柏崎市）：平安時代の掘立柱建物・井戸・川跡を検出しました。川跡には日常的に捨場として利用されていた場所があり、須恵器・土師器がまとめて出土しました。土器には「中山」などの文字が墨書されたものが十数点あり、特に注目されるのは5枚の花弁と茎が一筆書きされた「草花文」1点です。

やまぐち

**山口遺跡**（阿賀野市）：規則的に立ち並ぶ掘立柱建物や方形井戸、県内初例となる材木列塀が検出されたことから、平安時代の官衙関連遺跡と推定されます。遺物では、唐三彩の玩具片2点（壺・古琴）が特筆されます。県内で唐三彩が出土したのは初めてで、玩具の出土は国内で初めてです。

たきでら ようせきぐん おおぬき ようせきぐん

**滝寺窯跡群・大貫窯跡群**（上越市）：平成22年度に出土品1,012点が県指定されました。両窯跡群では須恵器・土師器を生産しており、窯の造営方法、土器の形態や製作技法に北陸地方と信濃・東海地方双方の影響があったことが分かります。古代越後の政治的中心地である上越地域の生産遺跡の様子を明らかにし、上越の地域性を理解する上で重要な資料です。

※第18回発掘調査報告会の当日資料はホームページ（<http://www.maibun.net>）に掲載しております。



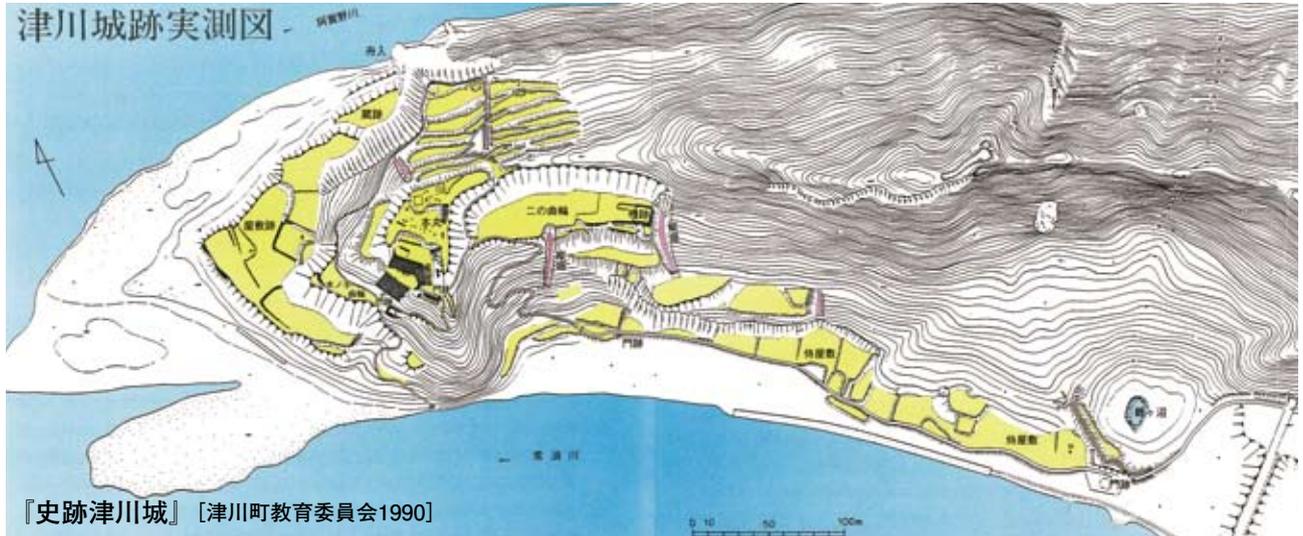
### 埋蔵文化財センター展示替えのお知らせ

上記「発掘された新潟の歴史2011」の展示品の一部を平成24年7月まで埋蔵文化財センターに展示する予定です。新潟県立歴史博物館の展示をご覧になれなかった方は、是非お越し下さい。

## 県内の遺跡・遺物75

つ がわ じょう あと  
津川城跡 (昭和40年4月県指定)

(所在地：東蒲原郡阿賀町津川字城山)



津川地方は鎌倉時代には小川庄と呼ばれ、会津盆地に本拠をもつ会津守護葦名氏の支配下にあり、この頃から常浪川流域の開発が進みました。津川城の始まりについては、『新編会津風土記』に建長四年(1252)会津守護葦名氏の一門藤倉盛弘が津川に城を築いたと記されていますが、確証はありません。室町時代に入ると、小川庄は葦名氏とその一門新宮氏の勢力争いに巻き込まれて戦場化します。1433年の津川合戦で新宮氏を滅ぼした葦名氏は腹臣の金上氏を津川城主に起用しましたが、1589年に葦名氏が伊達政宗との決戦で滅亡した時に金上盛備も討ち死にします。以後、会津領主は伊達、蒲生、上杉、蒲生(再)と変わりますが、その都度重臣が城主に任命され会津城の支城として存続しました。徳川家康が江戸幕府を開いた元和元年(1615)の一国一城令により存続が難しくなったため、1627年に廃城となりました。

津川城跡は阿賀野川・常浪川の合流点に半島状に突き出た断崖絶壁の岩山に築かれています。会津領西端の地で、外敵に備えるには絶好の場所です。曲輪(土や石で築いた囲い)や土塁のほか、中世の山城としては珍しく、石垣を築いています。山頂の主郭には物見櫓や大形の建物があります。東側急斜面は階段状に整えられ、縦堀が設けられた防御施設となっています。西側には侍屋敷(根小屋)、馬場、船付場、物資の集積所等がありました。

遺構がよく残り、県指定史跡として保護されています。  
参考資料：『新潟県中世城館跡等分布調査報告書』[新潟県教育委員会1987]、『史跡津川城』[津川町教育委員会1990]、『津川町の歴史と文化財』[津川町教育委員会1994]、『東蒲原郡史 資料編2 古代・中世・近世』[東蒲原郡史編さん委員会1995]、『会津若松市史3』[会津若松市2004] 資料提供：阿賀町



津川城の位置 (1 : 50,000)



津川城(麒麟山)遠望(南西から)

## 埋文にいがた No.77

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  
〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1  
TEL (0250)25-3981  
FAX (0250)25-3986  
E-mail : niigata@maibun.net  
URL : http://www.maibun.net  
印刷 株式会社ハイグラフィック